

『時事直言』 No.1584 2022年12月29日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

ひどかった 2022 年の次の 2023 年はどうなる

欧米では"2022 is ugly year"と言われている。

確かに波乱に満ちた年であった。

プーチンのウクライナ侵攻(2月24日)、中台緊張(8月)、インフレ加速、中央銀行の緩和から引締め転換(日本を除く)、なかならず株価超乱高下、等々で 2022 年は歴史に残る最悪の年であった。

今日、日本はもとより、世界中が知りたいのは、「ウクライナ戦争は何時まで続くのか」である。

ウクライナ戦争は親欧米同盟国と非欧米国の対立の場と化している。

バイデン大統領は年初バイデン・ドクトリンで、米中冷戦を「民主主義対専制主義の戦い」と位置付け、同盟国の結束と中国の一帶一路による経済圏拡大とアジア太平洋への軍事進出を阻止する構えを明確にした。

アメリカのウクライナや台湾への関与を、ロシアや中国からの侵略から民主主義を守るためとして正当化した。

「ウクライナ戦争は何時まで続くのか」の問いに明確に答える為には、バイデンを東西冷戦に、そしてプーチンをウクライナ侵攻に誘導した者は誰かを知らねばならない。

その誰かにとって、ウクライナ戦は早期決着がいいのか、それとも長期継続が利するのか。

米中冷戦についても同じく早期和解がいいのか、それともどちらかが倒れるまで「不倶戴天」にしておくべきなのか。

長期にわたって東西冷戦を目論み、その一環としてウクライナ戦争を計画、実行に移した者が、「すべてを決める」ことになる。

12月1日から連日「目からウロコの増田塾」で、ここ一番の市場戦略を「本日の株式指南」で、又国際政治の裏(真実)を「本日の世界情勢」でお話している。

まだ「目からウロコの増田塾」に参加していない方は、1か月のトライアル(試し)として受講されてはどうか。

私は、東西冷戦、ウクライナ戦争を仕組んだ者に代わって、冷戦の落としどころとウクライナ戦争が終わる時を明確にお話する予定にしている。

投資に、事業に、人生に「目からウロコの増田塾」をご活用下さい。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.130

<戦後 70 余年、死に体の日本が蘇る時>

現在増田俊男の小冊子 Vol. 130 は好評発売中です。内容は *日本にはいまだに主権がない、思想、憲法、安保、経済(金融)すべて対米追従体制 *国家の中枢日本国憲法の改正が禁止されている日本 *日本経済が「30年間死に体」なのは何故か *God helps those who help themselves (天は自ら助くる者を助く) - 先ず自らが裕福にならねばならない *日本人が一日も早く他人に施せるようになれば日本に誇りが蘇るなどです。価格は、1冊 4,800円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。